2024年3月　毎月1日発行　第187号
発行者　光栄プロテック　中川

3月に向けて

代表取締役　三田雅憲

　いよいよ初春を迎え春を待ち焦がれる気持ちでいっぱいです。もう一度会社として基本に立ち戻り社会や顧客に必要とされる会社や人として頑張っていきたく思います。
令和6年能登半島地震においては、平穏な生活を送っていた人々が一瞬にして被災者となり、不遇のまま亡くなれました。まさに一寸先が闇のような状況です。
　しかし、そのような中で当社の大阪工場のＨ君が2月14日に入籍され、なお男の子が誕生していたという知らせを頂きました。当社としては千葉のＵ班長代理に続く赤ちゃんの誕生の知らせに大変嬉しく感じると共に、お父さんになられたご本人は家族を守る責任と仕事に対する責務を改めて感じたのではないかと思います。私は子育てを家内に任せっぱなしで自分はほとんど何もしていないので、皆さんに何か言える立場では無いのですが、今は家事や育児をお母さんと一緒に協力していくことが求められます。
また家族は生きがいであり、仕事を頑張る原動力になります。家族仲良く、またときどきは親御さん宅を訪問して孫の顔をお見せすることも喜びを共有するうえで大切なこととなります。私もおじいちゃんの目線で見ますと孫は目の中に入れてもいたくない存在であります。両親に無い愛情で包んでくれます。時には親孝行もお願いします。
　繁忙な状況がまだまだ大阪・千葉と続きますが、事故、ケガに十分注意して3月も駆け抜けて頂きたく思います。
　なお2月をもって大阪のＮ君と千葉のＳ君がご退職されます。特にＳ君は千葉営業部草創期に一緒に関東をあちこち歩いて、お客さんの開拓を共にしていったので、縁がなくなる寂しさもありますが、彼の新転地での活躍を期待しております。
今期も残すところあと1ヶ月です。社員一同頑張っていきましょう。